

「歯と口の健康」に関する取組について

1 京都市歯科口腔保健の推進について

京都市では、歯と口の健康づくりのために、市民ひとりひとり、家庭、教育機関、医療機関、行政等がそれぞれ行うべき具体的取組を示した京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」（以下、指針とする）を平成21年3月に策定し、それに基づき歯科口腔保健に関する施策や取組を推進している。

<指針における歯科口腔保健の推進の方向性>

基本理念	ひとりひとりが歯と口の健康づくりに取り組み、生涯を通じた健やかで笑顔の暮らしを実現する			
3つの基本目標	内容	ライフステージ	歯と口の健康の状態	区分的ない取組
むし歯予防	健康で丈夫な歯を育む	母子口腔保健 妊娠、乳幼児、保育・幼稚園、少年(学齢)期	歯の生えはじめ 歯の生え代わり	セルフケアが困難な方の口腔保健(障害のある方や要介護の方等)
歯周病予防	健康な歯周組織(歯ぐき)の維持	成人口腔保健 青年期(15~29歳)、壮年期(30~64歳)	歯と口の機能の完成	
口腔機能の維持・向上	正常な歯と口の働きの維持と向上	成人口腔保健 高齢期(65歳以上)	老化予防に努める時期	

2 本市の取組状況等について

(1) 京都市民健康づくり推進会議口腔保健部会の開催

日 時：平成28年10月28日(金) 本能寺文化会館

- 議 事：1 京都市における歯科口腔保健の取組と現状について
2 京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」の改定について
3 平成28年度市政総合アンケートにおける歯科口腔保健に関する調査について
4 意見交換

(2) むし歯予防の推進

ア 子どものむし歯予防関連の状況

項目		目標	中間値(H18)	現状値(H27)
乳幼児期	3歳児におけるむし歯のある者の割合	20%以下	23.2%	14.5%
	3歳児でフッ化物歯面塗布を受けた者の割合	50%以上	36.4%	49.9%
少年期	6歳児におけるむし歯のある者の割合	50%以下	58.1%	41.4%
	12歳児における永久歯の1人平均むし歯の数	1歯以下	1.51歯	0.61歯

イ 歯科健診・相談，歯科保健指導 等

保健センター・支所において，成人・妊婦歯科相談（産婦含む），1歳6か月児健康診査，3歳児健康診査をはじめとする歯科健診・相談や各種健康教室などを実施した。

実績 成人・妊婦歯科相談 H27 1,428人（915人），H28上半期 811人（489人）

※（ ）内は妊産婦

1歳6か月児健康診査 H27 10,777人，H28上半期 5,976人

3歳児健康診査 H27 10,298人，H28上半期 5,683人

ウ 市内保育所（園）・幼稚園・認定こども園における集団フッ化物洗口の実施状況（4・5歳児対象）

就学前の時期の集団フッ化物洗口の実施を促進するため，施設に対し，学術的・技術的支援や初期必要物品の支援を実施した。

実績 H29年2月末時点 市内31施設（保育所（園）25，幼稚園1，認定こども園5）

エ 京都市フッ化物歯面塗布事業の受診状況（2・3歳児対象）

むし歯予防及びかかりつけ歯科医をもつきっかけ作りとして，フッ化物歯面塗布受診票（1回）を配布し，指定医療機関でフッ化物歯面塗布を受ける機会を提供している（京都府歯科医師会委託事業）。京都府歯科医師会の御協力により，自己負担金無料化を実施している。なお，平成28年度末までとしていた無料期間については，京都府歯科医師会の御尽力により，平成30年度末まで延長する。

実績 H27 受診人数5,191人 受診率49.9%，H28上半期 受診人数 2,426人

（3）歯周病予防及び口腔機能の維持向上の推進

ア 成人期・高齢期の歯周病予防及び口腔機能の維持向上関連の状況

項目		目標	中間値 (H18)		現状値 (H27)
青年期 ～ 壮年期	この1年間に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合	50%以上	45.2%		-
	この1年間に歯科健診を受けている者の割合	40%以上	43.1%		-
	歯肉に所見を有する者の割合（歯周コード1以上）	65%以下	40歳代	72.3%	72.3%
			50歳代	75.8%	81.8%
歯間部清掃具を使用している者の割合 （デンタルフロスや歯間ブラシ）	60%以上	40歳代	61.6%	-	
		50歳代	56.7%	-	
高齢期	60歳代における25本以上の自分の歯を有する者の割合	55%以上	52.5%		-
	80歳代における20本以上の自分の歯を有する者の割合	30%以上	22.7%		-

イ 健診等の取組

保健センター・支所において成人・妊婦歯科相談（18歳以上64歳以下の方、妊産婦の方）や口腔機能相談（65歳以上）を実施した。また、個別指定医療機関にて歯周疾患予防健診を実施した（京都府歯科医師会委託事業）。

実績 成人・妊婦歯科相談 H27 1,428人（513人），H28上半期 811人（322人）

※（ ）内は妊産婦を除く18歳以上64歳以下の方

口腔機能相談 H27 91人，H28上半期 53人

歯周疾患予防健診 H27 60人，H28上半期 16人

ウ 啓発媒体

各啓発媒体を各保健センター・支所での健康相談・健康教室、イベント等、また京都市国保被保険者への特定健診の集団健診会場等で配布した。

・歯ッピーNote

歯周病予防を中心とした歯と口の健康づくりの啓発冊子（お口の体操や口腔がん等の啓発情報も掲載）

・歯周病セルフチェックシート

自覚症状に乏しい早期の段階で歯周病を発見し、歯科受診を勧奨することを目的とした啓発チラシ（28年度から歯周疾患予防健診等の受診勧奨も掲載）

・やっていますか？オーラルケア

28年度に若年者向け歯科健診の受診勧奨チラシを新たに作成し、成人式会場で配布。

（4）セルフケアが困難な方への口腔ケアの推進

ア 歯科保健医療サービス提供困難者普及啓発等推進事業

施設入所中の障害者や要介護高齢者の口腔保健の向上を図るため、①関係機関との連絡調整会議、②歯科専門職への技術指導研修、③施設の実態調査や施設職員への技術サポート（2年間）、④出張歯科健診事業、等を実施した（京都府歯科医師会委託事業）。

実績 H27 ① 2回，② 1回，③ 新規10施設及び継続10施設，④29施設

イ 家族介護者向け医療的ケア・口腔ケア実践講習会

在宅介護を支える家族等に対し、医療的ケア及び口腔ケアに係る専門家の講義や実践講習を実施した（京都府医師会及び京都府歯科医師会委託事業）。口腔ケア実践講習会では京都府衛生士会にも新たに御協力をいただき、食支援の内容も実施した。

実績 H28 10回（うち、口腔ケア4回）

ウ 出張歯科健診

通院の困難な障害者等の口腔疾患の早期発見や口腔保健の向上のため、施設へ出張し歯科健診や相談・教育等を実施する京都府歯科医師会の事業に補助を行った。

実績 H27 86 施設

エ 障害者歯科診療

歯科治療や歯科保健指導等に特別な配慮の必要な障害者等の方に対する歯科治療の提供体制を確保するため、京都歯科サービスセンターに補助を実施した。

実績 H27 のべ来診者数 7,915 人

(5) 歯科口腔保健に関する調査の実施

平成28年度第2回市政総合アンケートとして、「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた市民意識調査及び歯科口腔保健調査と題して、市民3000人に対するアンケートを実施した。(結果のあらましは別紙参照)

3 平成29年度の方向性

平成21年3月に現在の指針を策定後8年が経過するなか、国の歯科口腔保健の推進に関する法律の制定や本市における「健康長寿のまち・京都」の取組開始をはじめとして、歯科口腔保健に関する状況も変化している。社会のニーズに合わせて、内容を見直し、歯と口の健康づくりを通じて、市民の健康寿命の延伸につなげていく必要があることから、指針を見直し、新たな目標値や計画期間を設定すること等により、より実効性を備えた「口腔保健推進実施計画(仮称)」として策定する。なお、策定にあたっては、28年度に実施した歯科口腔保健調査の結果や各歯科保健事業データ等を踏まえ、京都市民健康づくり推進会議口腔保健部会での意見交換等を実施する。